



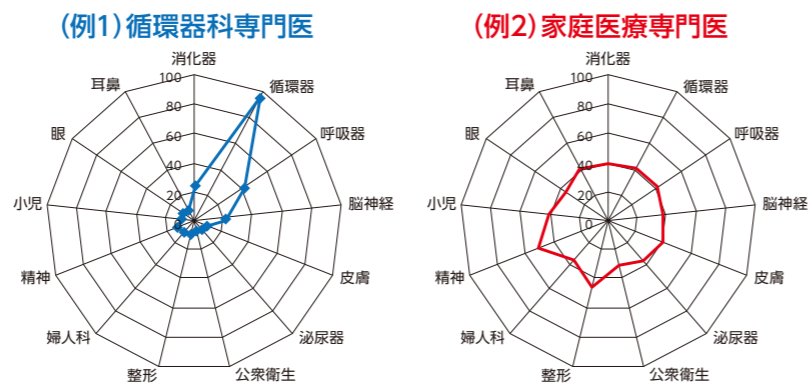
家庭医療専門医

総合医療学 木島 庸貴

この度、10月より島根大学医学部総合医療学講座に着任しました木島庸貴と申します。私は家庭医療専門医を持つ卒業8年目の医師です。

家庭医と聞いてピンとこない方もいらっしゃるかと思いますが、家庭医はプライマリ・ケア領域の問題に幅広く対応し、地域のかかりつけ医としての役割を担う医師です。例えば、(例1)の様に循環器科専門医は循環器領域において突出した能力を有するのに対し、家庭医療専門医は(例2)の様に突出した能力は持たないけれど、よくある疾患には満遍なく対応します。さらに活動する場は医療機関内だけでなく地域にも出ていき、健康という視点から地域に関わります。

今後、家庭医としてこの地域に役に立つ活動を行い、また島根県の家庭医・総合医の育成に携わりたいと思っています。皆様、よろしくお願致します。



自己血輸血看護師資格取得

輸血部 今岡 久美

平成24年11月、病院からの支援を受け、島根県初の学会認定・自己血輸血看護師となりました。自己血輸血看護師として同種血輸血にみられる免疫抗体産生の問題と未知の感染症、肝炎、エイズなどの輸血感染症の危険性を回避し、採血時の血管迷走神経反射などの副作用の予防に努めたいと思います。そして多職種の方と協働しながら、患者さんに安全で質の高い自己血輸血を提供できるように頑張りますのでよろしくお願致します。



リンパ浮腫ケア外来の自費診療開始

リンパ浮腫ケア外来では、リンパ浮腫に対するマッサージ、日常生活上の相談・指導を行っています。その算定には、保険適応(リンパ浮腫指導管理料)と自費診療の場合があります。平成25年11月からは自費診療でのケアも実施できる体制となりました。

自費診療について

費用	相談・指導	30分以上	1,050円
	マッサージ (リンパ浮腫に対するもの)	上肢 初回	4,200円
		上肢 2回目以降	2,100円
		下肢 初回	5,250円
		下肢 2回目以降	3,150円

※当院でのリンパ浮腫外来の受診には、当院担当医師の指示が必要です。

臓器移植特別講演会を開催しました

12月5日(木)に小児の脳死下臓器提供経験のある富山大学医学部附属病院副院長、奥寺 敬氏を講師に迎え「脳死事例と臓器提供についての経験と提言」と題した臓器移植特別講演会を開催しました。当院での脳死下臓器提供実施に向けた体制づくりの参考になりました。



SHIMANE UNIVERSITY HOSPITAL

NEWS 島大病院ニュース

2013.12 Vol.2

CONTENTS

診療科特集 「循環器内科」
「心臓血管外科」

家庭医療専門医
自己血輸血看護師資格取得
リンパ浮腫ケア外来の自費診療開始
臓器移植特別講演会を開催しました



平成20年5月診療科長に就任して以来、お陰様で医局は順調に大きくなり、24時間患者を受け入れる体制ができています。

虚血性心疾患

急性冠症候群や狭心症の患者は24時間体制で受け入れています。平成24年の1年間で心臓カテーテル検査は400例に施行し、ステント留置などの冠動脈インターベンション治療は95例に行いました。当科では光干渉断層法を用いた動脈硬化プラークの性状や冠血流予備能測定による精度の高い狭窄度の評価も同時に行っています。

不整脈

不整脈診療では、電気生理学検査、ペースメーカー植込み、カテーテルアブレーションや心臓再同期療法、植込み型除細動器の治療を行なっています。平成24年の1年間では徐脈性不整脈に対する永久ペースメーカー植込み術を50件(新規植込み30件)行いました。突然死の原因となる致死性心室性不整脈に対する植込み型除細動器による治療も行っています(平成24年は9例)。



心不全

住民の高齢化とともに、高齢者の心不全が増加してきています。当院ではICUや救命救急センター病棟での急性期から心臓リハビリテーションの介入を実施しています。これは県内施設で唯一の取り組みであり、理学療法士と定期的にカンファレンスを開き、連携して入院患者の早期の離床、回復を目指しています。また薬物療法に抵抗する高度な心不全に対しては、両心室ペーシングによる心臓再同期療法を行っています。本年はこの治療のために島根県西部からドクターヘリでの搬送も受け無事に退院されました。当科では高度医療の提供だけでなく、総合的な視野をもって診療に当たらせていただいています。今後ともご支援よろしくお願い申し上げます。

📞 **ホットライン** 循環器内科: **070-5672-8109**



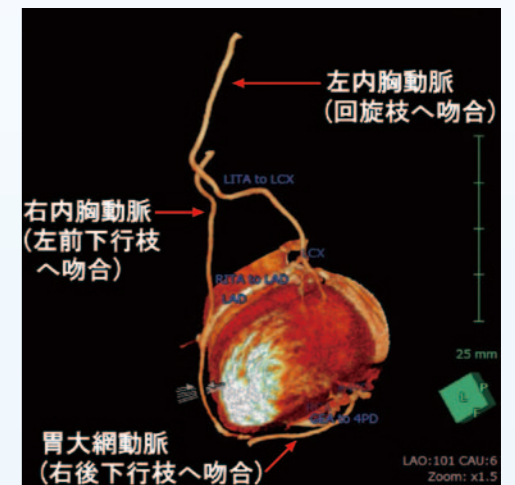
小児心臓外科

平成25年4月に着任した藤本欣史医師(本学出身)の献身的な努力により、日本のトップ施設(静岡こども病院)の高い医療水準を本院に導入する準備が完了し、10月より実際の心臓手術を開始しました。小児科心臓チームと一体となって治療にあたり現在まで6例すべて順調な経過です(表)。この中には緊急手術症例など重症例も含まれていたにも拘わらず良好な結果を得ており、当院の小児心臓手術医療の実力の高さを示すものと考えています。

島根大学病院小児心臓手術実施例		
年齢	診断	術式
2m	複雑心奇形	肺動脈バンディング、動脈管切離術
1y	動脈管開存症、肺動脈弁狭窄症	動脈管結紮術
6y	心室中隔欠損症	パッチ閉鎖術
6m	複雑心奇形	肺動脈バンディング、動脈管結紮術
7y	動脈管開存症	動脈管結紮術
4m	心室中隔欠損症、卵円孔開存	パッチ閉鎖術

成人心臓外科

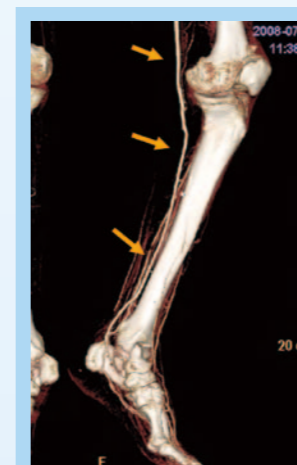
診療科長の織田をはじめ副診療科長の花田、末廣、今井が手術責任者の立場にあり、十分なマンパワーですべての分野の待機手術・緊急手術に対応しています。80歳以上の高齢者でも日常生活が自立していれば、通常的心臓手術が大きなりリスクなく実施可能です。今年“手術不能例”に対する経カテーテル的大動脈弁置換術が保険承認されましたが、現時点ではまだまだ合併症が多く(ペースメーカー植込みを必要とする房室ブロック、弁周囲逆流など)、本当の手術不能例以外は通常の弁置換術が勧められます。冠動脈バイパス術では、ハイリスク例での侵襲軽減のため、また脳合併症予防と長期予後改善のため、基本的にすべて動脈グラフトを用いてオフポンプ(人工心肺を用いない心拍動下手術)にて吻合しています(図)。難易度の高い術式のため全国的にも実施施設は限られており、島根県では当院のみで行っています。



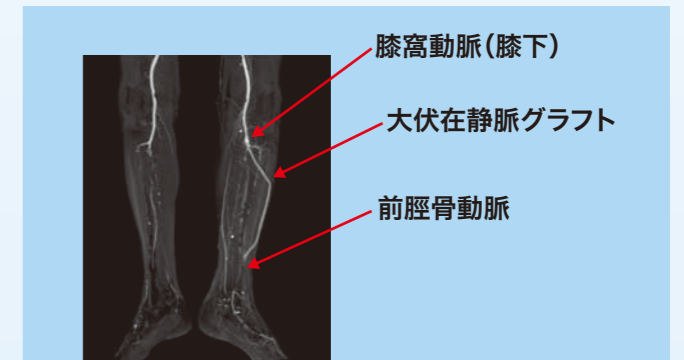
術後心臓造影CT(オフポンプにて3本バイパス)

血管外科

花田副診療科長を中心に難易度の高い足関節までのlong bypassも積極的に手掛け開存率も良好です(図)。皮膚科と共同してのチーム医療により、難治性潰瘍の治療や従来は下肢切断であった重症例の救肢につながっています。腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療は実施基準(IFU)に従って実施しており、合併症発生は皆無で、すべて治療に成功しています。



後脛骨動脈へのlong bypass (術後CT画像)



術後経過



📞 **ホットライン** 心臓血管外科: **070-5525-0086**

すべての分娩制限を 解除しました

産科 診療科長 みやざき こうじ
宮崎 康二



外来TEL **0853-20-2389**



当院の病棟再開発事業により、病棟、分娩待機室、分娩室が改修され、すべての分娩制限を解除しました。きれいな環境で、職員の皆様はもとより一般の方の里帰り出産等、患者さんの希望を重視した安心、安全な出産ができます。

患者さんのプライバシー保護、個人情報保護を徹底し、外来診察室や出産への学生の立ち会いについて、患者さんからの申し出により、患者さんに不利益がないように致します。

病室も母児同室に新しくなりました。特にベビー室において、一時赤ちゃんを看護師が預かり、母児同室に戻すことも可能で

あり、出産で疲れた患者さんの負担軽減になっています。B病棟3階の全入口のカードロック機能やテレビカメラによる24時間監視により部外者の侵入等を未然に防いでいます。

当院のNICUや内科、外科、麻酔科の専門医師との連携が充実しており、超緊急帝王切開は、手術決定から赤ちゃんが生まれるまで平均14分(手術室と分娩室が同じフロア)であり、安心して安全な出産ができます。また、緊急時に多くの医師が同時に対応可能な広い分娩室2室と病棟にLDR室(陣痛室と分娩室、回復室が同じ部屋)を完備しています。

希望により、女医さんの対応や無痛分娩もできますし、帝王切開時に傷が目立たない下腹部横切開が可能です。

